



元氣とタイムリーな情報を提供する

五十嵐レポート

発行:「町コン」ト五十嵐 勉 平成23年09月19日 第529号「週刊五十嵐レポート」

舵取り

舵取りを辞書で調べてみると、「船の櫓(ろ)や櫂(かい)を使って船を漕ぐ人。船頭。 舵で船の方向を定めること。転じて、物事がうまく進行するように誘導すること。また、その人」の意味になります。

平成23年9月17日付、日経新聞「企業2」の欄に「工場閉鎖、人員も削減 日本写真印刷 今季最終赤字に」という記事。

携帯端末向けタッチパネル大手の日本写真印刷は、工場閉鎖や人員削減を含む合理化策を発表した。スマートフォンへの移行に乗り遅れ、受注が落ち込んだ。特別損失の計上により、今期の連結最終損益は270億円になり、上場来初の無配とする。

亀岡工場(京都府)の一部を今年度中に閉鎖、生産を集約。非正規社員を含む700人の人員削減と役員報酬を5割減らし、従業員の給与・賞与削減にも踏み込み、90億円のコスト削減を目指す。

売上高は800億円と前期比30%減を見込み、最終赤字は2期連続。

同社はペンで操作できるタッチパネルに強いが、スマホは指でなぞるタイプで、構造が異なる。副社長は記者会見で「技術の乗り換えに出遅れた」。

同社は、2年前まで常に売上高経常利益率は10%以上を確保し、自己資本比率は50%超の優良企業。

今は、優良企業といえども、トップの舵取り次第では、船が沈みかけることもありうるということです。

舵をとるためには情報収集が大事です。 業界のライフサイクルの変化、競争相手の出現、販売先業界の変化、社会の変化、法律の改正などで売上が構造的に低下することがあるということです。

ちょっと
気になる出来事

9月17日付、日経新聞、私の履歴書(室伏稔氏)にて、瀬島隆三氏は業務部員向けに「心得」をつくられました。

(瀬島氏は室伏氏の上司)

「着眼大局 着手小局」

目標は高く、広く、長期的に。実行は着実、綿密に。

戦略は戦術をカバーするが、戦術は戦略をカバーできない。

心得メモ

- ・仕える上司の意図をよくつかみ、誠心誠意仕えるべし。
- ・勉強せよ。経済情勢、業界情勢、営業・商品知識。
- ・謙虚だれ
- ・営業部門とは御用聞きのもりで接するように。

ピンと来るものがあります。



一口メモ
成功の秘訣

十年の辛抱

「井を掘ること九じん、しかも泉に及ばざれば、なお井を棄つと為すなり」 一じんは八尺。9じんも深く掘りながら、水脈に達しないからといってやめてしまったのでは、井戸を棄てたのと同じだという。格言すれば、苦勞してやりかけた仕事を途中で放り出したのでは、それまでの苦勞が水の泡のなる。

孟子は事業を行うのは井戸を掘るようなものと前置きしてこの言葉を語ったのだ。

専門知識は1年や2年の勉強ではなかなか身につかない。心機一転、やる気を出して勉強を始めたとしても、往々にして肝心の水脈に至る前に諦めてしまい、井戸を棄てる結果となりやすい。

一般に、3年やればその分野の事情がつかめ、10年やれば一人前になるという。やる以上は10年のがまんは覚悟したほうがよい。

守屋洋「中国古典一日一話」より

- 週刊五十嵐レポート 毎週月曜日発行
- 町コン経営塾「会社成功塾」 毎週日曜日、月曜日 午前10時~12時。
- 町コン・ランチェスタービジネスセミナー 毎月東京・大阪開催

㈱五十嵐コンサルティングオフィス 〒133-0051東京都江戸川区北小岩6-21-5

03-3659-7703 Fax 03-3659-7077 tigaras@attglobal.net

